

グローバル・フォーカス (毎月決算型)

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、国内投資信託グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）と国内投資信託マネー・マーケット・マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式のうち、景気、地域、業種などの外部要因または企業独自の要因により株価上昇が期待される銘柄に実質的に投資を行うことで投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年6月6日～2020年12月7日

第73期	決算日：2020年7月6日	
第74期	決算日：2020年8月5日	
第75期	決算日：2020年9月7日	
第76期	決算日：2020年10月5日	
第77期	決算日：2020年11月5日	
第78期	決算日：2020年12月7日	
第78期末 (2020年12月7日)	基準価額	5,705円
	純資産総額	2,644百万円
第73期～ 第78期	騰落率	14.5%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

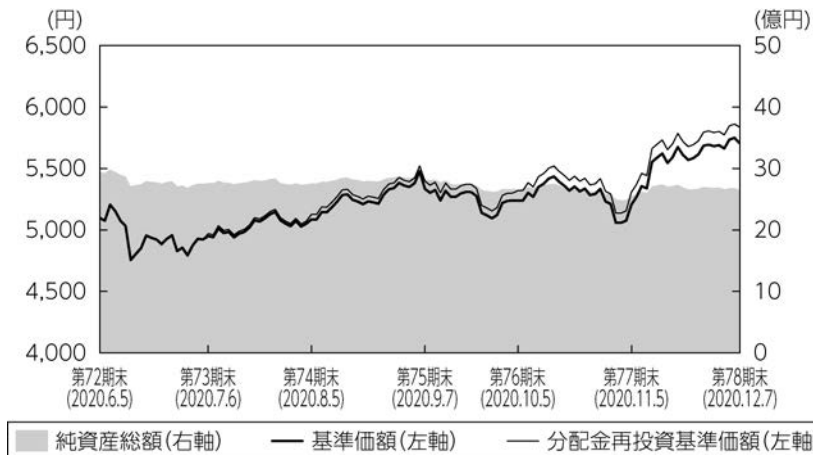
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第73期首： 5,097円
 第78期末： 5,705円
 (既払分配金120円)
 騰落率： 14.5%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

外国為替市場では、F R B（米連邦準備制度理事会）が、現在の金融緩和政策継続を示したことから、主要通貨に対してドル安傾向が強まりました。この結果、円は対米ドルでは円高となった一方、ユーロの対米ドルでの上昇率の方が高かったことから、対ユーロでは円安となりました。また、各国の中央銀行は金融緩和を拡大し政府も過去最大規模の財政政策を打ち出したことからグローバル株式市場は上昇しました。株式市場上昇を主因に、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第73期～第78期		項目の概要
	(2020年6月6日 ～2020年12月7日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	31円	0.600%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,228円です。
(投信会社)	(10)	(0.195)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(20)	(0.390)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	31	0.601	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

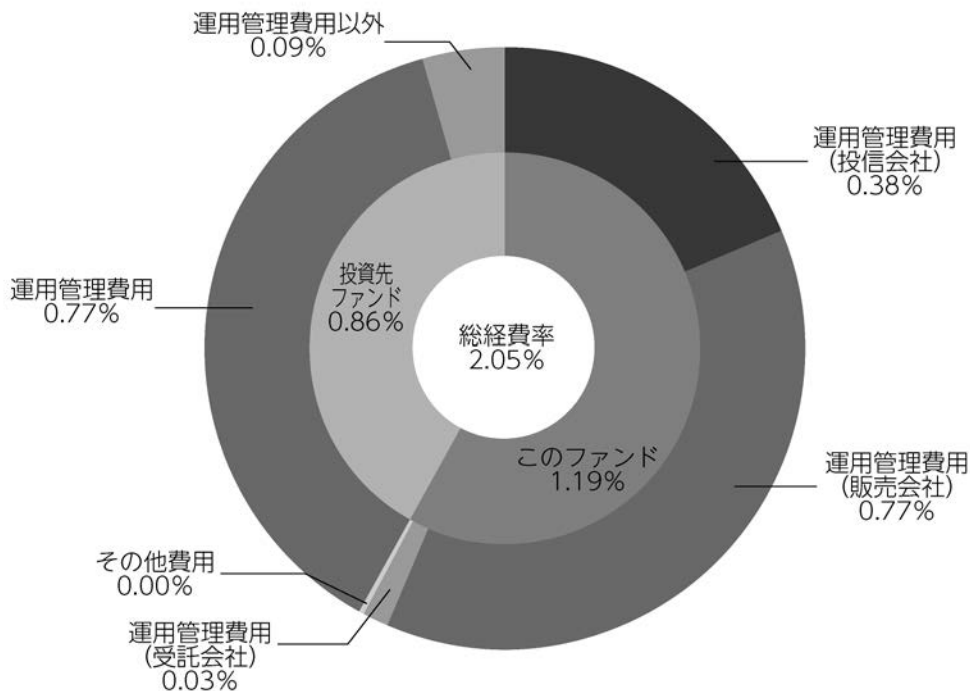
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



総経費率（①+②+③）	2.05%
①このファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.77%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

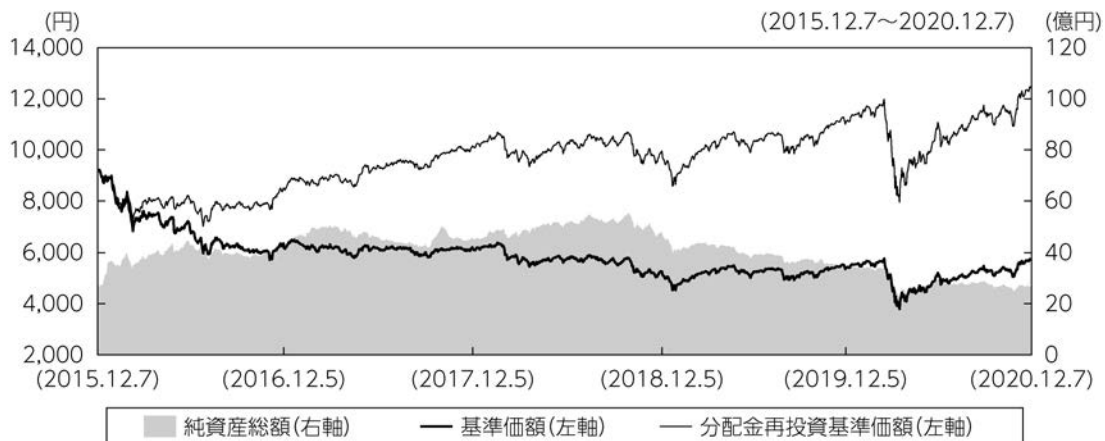
（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年12月7日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2015年12月7日 期首	2016年12月5日 決算日	2017年12月5日 決算日	2018年12月5日 決算日	2019年12月5日 決算日	2020年12月7日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	9,136	6,166	6,127	5,263	5,364	5,705
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	2,150	1,160	770	420	300
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△7.5	19.9	△1.8	10.5	12.8
純資産総額	(百万円)	2,615	4,287	4,532	4,758	3,417	2,644

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見えないことから、依然として景気見通しに対する懸念は強いものの、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への悪影響を鑑み、各国の中央銀行が金融緩和を拡大し、政府も過去最大規模の財政政策を打ち出したことや、部分的な経済活動の再開、新型コロナウイルス向けワクチン開発成功のニュース等を受け、2021年以降の景気回復期待を先取りする形でグローバル株式市場は上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっていることが要因となりました。

為替市場では、インフレ懸念が小さいことや新型コロナウイルス感染拡大による景気への悪影響を可能な限り最小限にするために、FRBが、現在の金融緩和政策継続を示したことから、主要通貨に対してドル安傾向が強まりました。この結果、円は対米ドルでは円高となりましたが、ユーロの対米ドルでの上昇率の方が高かったことから、対ユーロでは円安となりました。

ポートフォリオについて

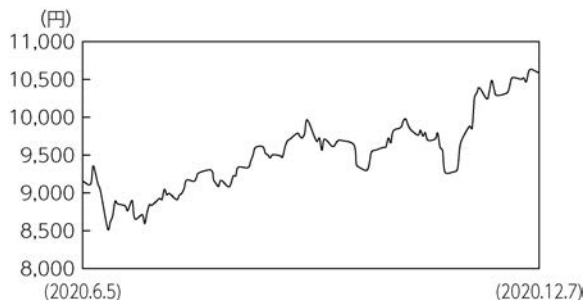
●当ファンド

国内投資信託のグローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）の組入比率は高位を維持し、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行いました。

●グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）

グローバル・フォーカス株式マザーファンドを通じて主として日本を含む世界各国の株式に投資し、株式への実質投資割合は高位を保ちました。地域・国別に見ると、スイスやイギリス、スペインを中心に欧州地域の銘柄への配分を厚めにしました。一方で、アジア地域への配分は抑えました。セクター別では、通信やヘルスケア、生活必需品セクターなどにおいて、相対的に魅力的な銘柄に重点的に投資しました。

＜グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）の基準価額の推移＞



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

●マネー・マーケット・マザーファンド

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績・分配原資等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2020年6月6日 ～2020年7月6日	2020年7月7日 ～2020年8月5日	2020年8月6日 ～2020年9月7日	2020年9月8日 ～2020年10月5日	2020年10月6日 ～2020年11月5日	2020年11月6日 ～2020年12月7日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.40%	0.39%	0.37%	0.38%	0.38%	0.35%
当期の収益	16円	20円	20円	16円	16円	20円
当期の収益以外	3円	-円	-円	3円	3円	-円
翌期繰越分配対象額	1,171円	1,172円	1,173円	1,170円	1,166円	1,222円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続きグローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）を通じて、日本を含む世界の株式のうち、景気、地域、業種などの外部要因または企業独自の要因により株価上昇が期待される銘柄に実質的に投資を行うことで投資信託財産の成長を目指して運用を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

●グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）

新型コロナウイルス感染拡大を受けて世界景気及び企業業績への懸念は強いものの、各国中銀の金融緩和継続や各国の財政出動積極化を背景に、株式市場は底堅く推移すると考えます。引き続き、グローバル・フォーカス株式マザーファンドを通じて主として日本を含む世界各国の株式に投資し、株式への実質投資割合は高位に保ちます。株式への投資にあたっては、景気、地域、業種などの外部要因または企業独自の要因により株価上昇が期待される銘柄に着目した銘柄選択を行います。

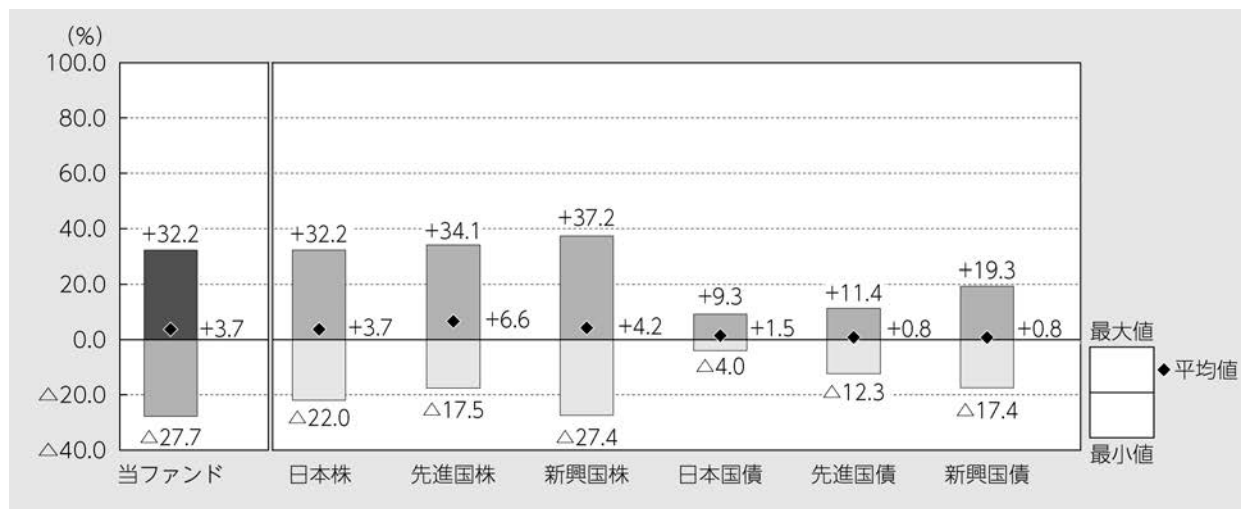
●マネー・マーケット・マザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用を目指していきます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2014年6月16日から2024年6月5日まで	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・フォーカス (毎月決算型)	①グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用） の受益権 ②マネー・マーケット・マザーファンド受益証券
	グローバル・フォーカス株式 ファンド（適格機関投資家専用）	グローバル・フォーカス株式マザーファンドの受益証券。
	マネー・マーケット・ マザーファンド	わが国の短期公社債。
運用方法	<p>以下の投資信託証券を通じて、主として、日本を含む世界の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>内国証券投資信託 グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）（以下「グローバル・フォーカス・ファンド」といいます。）の受益権 内国証券投資信託（親投資信託） マネー・マーケット・マザーファンド受益証券</p> <p>なお、グローバル・フォーカス・ファンドでは、景気、地域、業種などの外部要因、または企業独自の要因により株価上昇が期待できる銘柄を選定します。</p> <p>各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、グローバル・フォーカス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、投資信託証券からの分配金水準等を参考に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年12月～2020年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引き前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年12月7日現在）

◆組入ファンド等

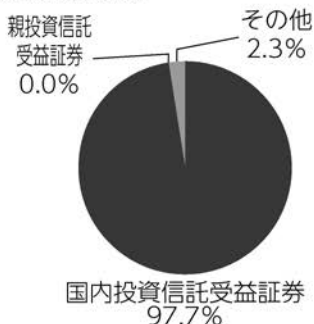
（組入ファンド数：2ファンド）

	第78期末
	2020年12月7日
グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）	97.7%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0
その他	2.3

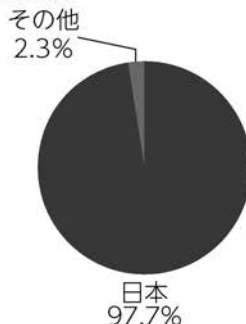
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

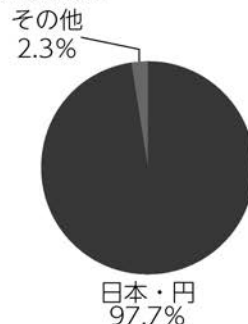
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

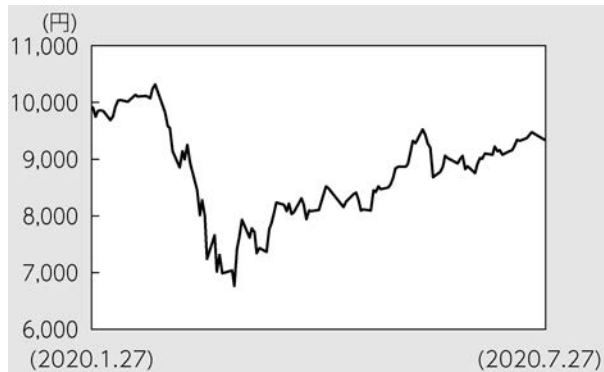
項目	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末
	2020年7月6日	2020年8月5日	2020年9月7日	2020年10月5日	2020年11月5日	2020年12月7日
純資産総額	2,762,311,075円	2,756,908,420円	2,826,831,432円	2,663,420,613円	2,549,681,800円	2,644,349,402円
受益権総口数	5,580,970,402口	5,421,428,180口	5,298,308,742口	5,085,139,419口	4,897,621,311口	4,635,105,545口
1万口当たり基準価額	4,950円	5,085円	5,335円	5,238円	5,206円	5,705円

（注）当作成期間（第73期～第78期）中における追加設定元本額は92,614,510円、同解約元本額は1,219,175,924円です。

組入ファンドの概要

【グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）】（計算期間 2020年1月28日～2020年7月27日）

◆基準価額の推移



◆組入上位銘柄

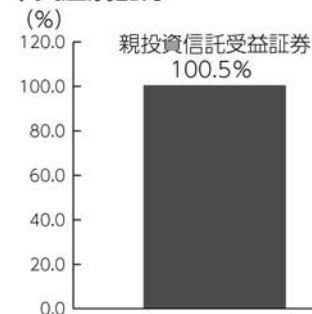
銘柄名	通貨	比率
グローバル・フォーカス株式マザーファンド	日本・円	100.5%
組入銘柄数	1 銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

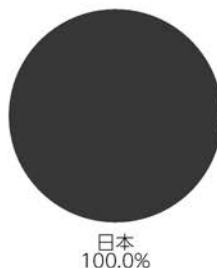
項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	34円 (33) (0) (1)	0.394% (0.383) (0.001) (0.010)
(b) 売買委託手数料 (株式)	2 (2)	0.024 (0.024)
(c) 有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.024 (0.024)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用)	4 (4) (0)	0.046 (0.043) (0.002)
合計	42	0.488

期中の平均基準価額は8,746円です。

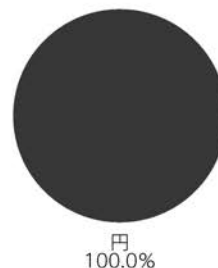
◆資産別配分



◆国別配分



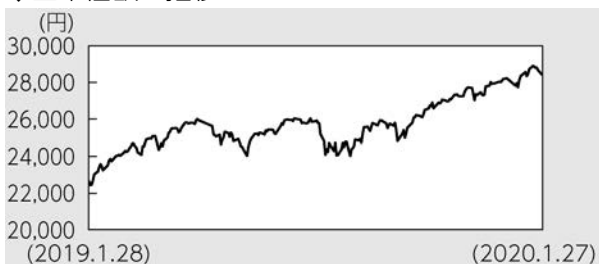
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細はグローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）の計算期間のもので、また、当計算期間における分配金を再投資したものとみなしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）の決算日現在の状況を表示しております。
- (注4) 組入上位銘柄、資産別配分の比率はグローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）の純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注6) 組入上位銘柄、1万口当たりの費用明細、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社提供のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<ご参考> グローバル・フォーカス株式マザーファンド (計算期間 2019年1月29日～2020年1月27日)

◆基準価額の推移



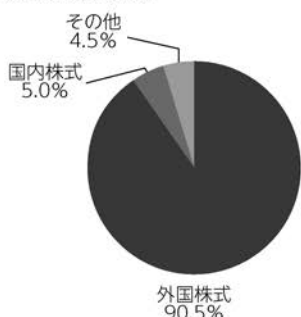
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	5.5%
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	アメリカ・ドル	4.1
BOSTON SCIENTIFIC CORP	アメリカ・ドル	4.0
NIKE INC -CL B	アメリカ・ドル	4.0
WALT DISNEY CO/THE	アメリカ・ドル	3.8
MARSH & MCLENNAN COS	アメリカ・ドル	3.5
INTUIT INC	アメリカ・ドル	3.3
ABBOTT LABORATORIES	アメリカ・ドル	3.1
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.1
ASTRAZENECA PLC	イギリス・ポンド	3.1
組入銘柄数	40銘柄	

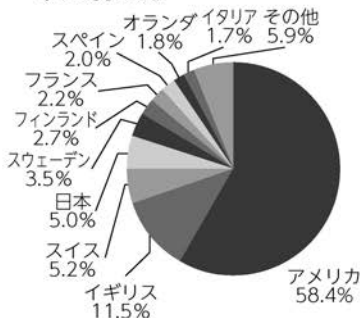
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	11円 (11)	0.043% (0.043)
(b) 有価証券取引税 (株式)	7 (7)	0.028 (0.028)
(c) その他費用 (保管費用 その他)	9 (9) (0)	0.035 (0.035) (0.000)
合計	27	0.106
期中の平均基準価額は25,562円です。		

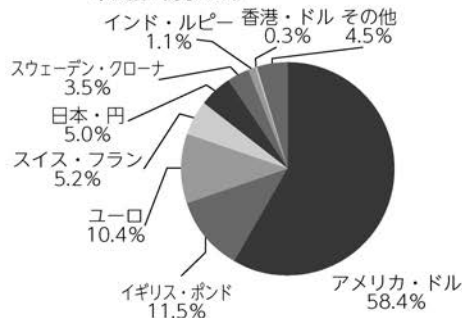
◆資産別配分



◆国別配分



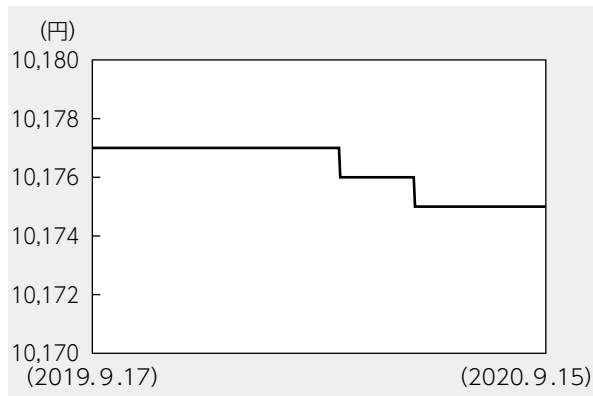
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細はグローバル・フォーカス株式マザーファンドの計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、グローバル・フォーカス株式マザーファンドの決算日現在の状況を表示しております。
- (注4) 比率はグローバル・フォーカス株式マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注6) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社提供のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【マネー・マーケット・マザーファンド】（計算期間 2019年9月18日～2020年9月15日）

◆基準価額の推移



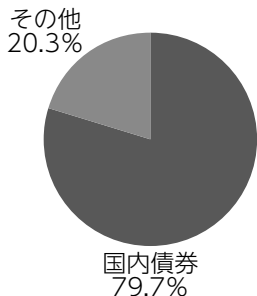
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
9 6 回 共同発行市場公募地方債	日本・円	59.8%
3 4 7 回 大阪府公募公債	日本・円	19.9
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
組入銘柄数	2銘柄	

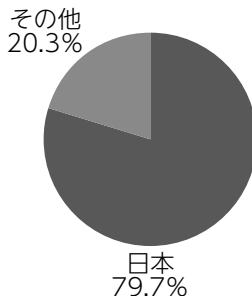
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

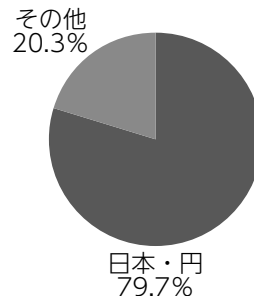
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、
 (注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
 (注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
 (注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

